

## 2008年度中国青年代表团第3陣が来日

公務員、企業家、学者など各分野で交流

「2008日中青少年友好交流年」事業の一環として、11月10日から18日まで中国青年代表团第3陣（総団長＝盧雍政・中華全国青年連合会副主席）が来日した。一行は、総団長ら代表者6名、青年指導者39名、公務員31名、企業家32名、教育関係者30名、地方青年指導者66名、学者27名、青少年（四川大地震被災地域青少年）68名で構成された計299名で、分団ごとに東京、神奈川、愛知、長野、山梨、京都、兵庫、広島、新潟等の各地を訪れ、それぞれ専門分野に関する視察、講演に参加したほか、日本青年との交流会やホームステイ、合宿セミナーなどを通じて、ともに各分野で日中の将来を担う青年同士、交流と相互理解を深めた。

同団の派遣は中華全国青年連合会、受け入れは当財団が担当し、青年指導者、公務員、企業家、教育関係者、地方青年指導者、学者の各コース実施は他団体にそれぞれ委託し、盧雍政総団長が参加した総団および青少年分団は、当財団が実施した。

11月12日には、全団員が「日中青少年友好交流年閉幕式『日中青少年歌合戦』」及び閉幕レセプションに参加し、中国高校生訪日団第6陣400名と、一般公募による日本側出席者ら、合わせて1000名が一堂に会した。



盧雍政総団長ら青年団一行

盧雍政総団長や万学軍総秘書長、オリンピック金メダリストの郭晶晶さんら総団一行6名は、11日に四川省の学生とともに中曽根弘文外務大臣を表敬訪問した。中曽根大臣は北京オリンピックの成功を祝うとともに、四川省の学生に「日本の若者と一生に残る思い出と友情を育ててほしい」と励ましの言葉を述べた。

13日からの地方訪問では、公務員分団とともに名古屋市の山田雅雄副市長を表敬した後、同市の名水プロジェクトについてのセミナーに参加。また、愛・地球博記念公園や、トヨタ会館を参観した。15日は企業家分団と山梨県を訪れ、富士山クラブが取り組んでいる環境保護活動を視察、樹海トレッキングも体験した。



外務省にて中曽根大臣表敬訪問



名古屋市表敬訪問での講義  
「名水プロジェクト」

青少年分団は四川大地震の被災地の中高生で構成されており、2コースに分かれて、それぞれ広島県および兵庫県と、新潟県を訪問した。

広島コースは三次市日中友好協会の受け入れ協力を得た。広島県立三次高校にて盛大な歓迎セレモニーで迎えられ、茶道体験などの学校交流を行い、同日夜には、村井政也三次市長、國光拓自庄原市副市長も同席した夕食会に参加した。15日には兵庫県に移動し、国立南淡路青少年交流の家で啓明学院高校の生徒と合宿し、グループ懇談などで大いに盛り上がった。16日には、神戸のあしながレインボーハウスを訪問し、阪神淡路大震災を経験した高校生、大学生らと温かい雰囲気の中、交流が行われた。



**国立南淡路青少年交流の家にて  
啓明学院高校との交歓会**



**新潟県庁にて泉田知事表敬訪問**

新潟コースは県庁を表敬訪問し、泉田裕彦知事から、四川大地震に対する見舞いと復旧への協力、新潟県と中国との友好関係についてなど、温かい言葉をもらった。その後、県立長岡工業高校にて学校交流に参加したほか、県代表として12月に訪中する予定の高校生とともに、合宿交流会を行った。交流会では、日中混成チームを組んでのゲーム等で盛り上がり、会場は歓声と笑顔に溢れていた。16日には東京日野市のあしながレインボーハウスを訪問し、「おしゃべりの部屋」「火山の部屋」「おもいの部屋」などの心を癒す施設を見学したほか、あしなが心塾の遺児学生10人と交流し、真剣に寮生の話しに耳を傾け、自分の夢を書いた折り紙で鶴を折るなど、楽しく有意義な一時を過ごした。

各分団は地方の訪問先から東京へ戻り、17日午後には、報告会で訪日の成果を発表し、夜には歓送夕食会に参加して、日本との別れを惜しんだ。

一行は9日間の日程を終え、成田空港より18日、全員無事に帰国した。本代表団の受け入れにご協力下さった外務省、新潟県庁、三次市日中友好協会、関係団体・企業、訪問先学校、ホストファミリーの皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げたい。

(総合交流部)

## 2008年度中国青年代表団第3陣 各団の感想

### A 団（青年指導者）

- 日本人は、地震が頻発し、資源が少ない国に暮らしています。しかし、自然に対して絶えず様々な取り組みを行っています。防震防災の技術、意識および施設等は、他国とは比べものになりません。これは人間が大自然に挑み、また適応する上での手本であるのみならず、人々が高い危機管理意識を備えているからであると思います。いわゆる「憂患に生じて、安楽に死する」という人々の姿勢には、とても感服しました。
- 日本人は細部に配慮し、細かい点まで非常に良くできています。皆が「細部が成否のカギである」と言う点を認識し、忠実に守っているのではないかと思います。日本は、歴史の発展から経験を学び取り、経済社会を発展させると同時に、環境保護を非常に重視し、エネルギーや資源を最大限に活用しています。私達も逸早くこのような経験を学び、科学的且つ調和的に発展させるべきであると思います。今回の日本訪問により、日本に対して抱いていた考えが変わりました。日中両国の子々孫々にわたる友好を願っています。

### B 団（公務員）

- 私が抱いていた日本人に対するイメージが大きく変わりました。日本人は、勤勉、善良、私心のないという新たな印象を持ちました。日本人は用地を節約して使用していますが、土地の節約は日本人の日常生活、仕事、交通に影響を及ぼすことなく、生活は整然としています。日本人の家庭が最も印象深く、私のホームステイ先の家庭は非常に優しく、温かく、両親の仲が良く、私に親切に接してくれました。今回の訪問と日本人との触れ合いの中で、「他人に迷惑を掛けない」という日本人の特徴を表わす言葉を益々実感するようになり、日本が好きになりました。日本人の私心の無い精神が好きです。
- 初めて日本の家庭にホームステイし、普通の日本人と楽しい一日を過ごすことができ、日本人の親切な心を感じました。この活動が永遠に続き、多くの中国人が日本のことを理解することを願っています。また、より多くの日本人、特に中国を訪れたことがない日本人に中国の変化を知っていただきたいと思っています。今後も機会があれば、このような活動に参加し、日中両国における今後の友好に微力ながら貢献したいと思っています。

### C 団（企業家）

- 日本の環境に対する意識が高いことに多くの刺激を受けました。これは日本政府と国民が一体となって努力してきた結果であり、世界の中でもこれに学ぶべき国が多いです。また、風景の美しさもよく保存されています。
- 日本の経済は急速に発展しましたが、多くの領域でそれに対応し、産業、労働生活共に多くの基準を作り上げています。日本の経済は現代に適しています。
- 日本人の礼儀正しさ、友好的な人柄に大変感銘を受けました。

### D 団（教育関係者）

- 今回は中国青年代表団とともに訪日しましたが、とても印象深い訪問となりました。日本に対してもそうですし、代表団のメンバーと友情を育んだことも、私の人生にとっては財産です。日本

は鏡のように、中国の長所と短所を映し出してくれました。教育の面でも、共通の困難、問題が存在しますが、多くの面で、私たちは日本に学ぶべきだと思いました。

- 今回の訪問で、日本人や日本のこと、歴史や教育、先進的な環境保護など多くのことを知ることができました。これまでテレビを通じて中国で理解していた日本と、実際の日本とは少し違いました。日本人の勤勉さと礼儀正しさが深く印象に残りました。今回見たことを友人にも話して、もっと多くの中国人に日本を理解してもらい、今の日本は平和で、友好的であることを知ってもらいたいと思います。私は日本と中国が世々代々友好であってほしいと思いますし、そのために努力し、自分がなすべきことをしていきたいと思います。

#### E 団（地方青年指導者）

- 今回の訪日で一番感心したことは、日本は資源が乏しいにも関わらず、経済は発展し、管理が行き届いているということです。国民の素質がとても高く、生態系や環境も保護されています。
- 日中間の青少年文化交流をさらに増やし、特に文化・スポーツ・芸術などの交流を通じて、お互いの文化をもっと理解したい。
- この8日間の訪日で、とても感動しました。現代的な東京から、美しい奈良へ、そして豊岡を訪問しましたが、豊岡では、日本人の知恵がいろんなところに現れていました。また、日本の環境や現代農業と福祉制度に感心し、日本の進んだ経験を中国へ持ち帰り、中国の青年の皆さんに伝えたいと思いました。両国の将来を更に美しくするため、中日友好交流の橋を築きたいと思います。

#### F 団（学者）

- 日本の友人はとても親切で、とても真面目に仕事熱心で、私に良好な印象を残しました。今後機会があれば再訪を望みます。日本について更に多くの分野を深く理解し、他の業界の発展状況を理解したいです。
- 日本は友好交流を非常に重視しています。また、小さい頃から次世代教育を始めることを重んじ、特に小さい時から子供の学習への興味を育成していることが、名古屋市科学館を見学して分かりました。ハイテクの研究開発を重視するという観点から、私も更に多くの機会を作り、貴国と学習交流することを希望します。

#### G 団（四川青少年）

- 閉幕式の歌合戦では、日本の青少年は活発で可愛らしく、強烈な青春の息吹を放っており、その勇気あふれる闘志は私を奮い立たせました。長岡工業高校の学生との交流では、真摯で友好的なまなざしで、私達の手をとって実験を教えてくれ、実験の時の彼らの慎重さには驚くばかりでした。新潟県では日本の青少年と合宿を行い、言葉は通じなくても、眼差しと心は言葉の壁を乗り越えて通じ合うことができました。あしなが育英会との交流では、子供たちの強さと勇敢さが、私が出会ってきた困難などとても取るに足らないものだと教え、更に今ある幸せを大切にすることを教えてくれました。
- 道で、一人の見知らぬ日本の子供が突然中国語で「你好」「謝謝」「我愛你」と話しかけてきて、感激しました。閉幕式では、日中両国の友人が手に手を取って音楽に合わせて両手を振り上げ、「明天会更好」を歌ったことに感動しました。記念レセプションでは福田先生が私

達の両手をしっかり握り、私達の被災地の状況を温かく尋ね、我々四川の被災地の子供たちが力強く未来に向かうよう励ましてくれたので、感激で涙が出ました。

- あしなが育英会で、大学生の有志と交流を行ったことが訪日最大の収穫で、一番感動しました。遺児たちは自分の過去を語る時、私達の悲しい記憶を思い起こさせることを恐れ、目にためている透きとおった美しい涙を、頬に伝わせるまいとしていました。彼らはこんなにも他人を思いやり、悲しみから強く抜け出して、他の遺児たちを大きな愛情をもって世話をしています。交流会では、自分の手で折った千羽鶴に、心を込めて自分の願い事を書きました。この千羽鶴が私の願いをかなえてくれ、世界の隅々まで飛んで行って、レインボーハウスの全ての子供たちが世界中の人々によって気遣われ、思いやられていると感じるといいと願いました。

2008 年度 中国青年代表团第 3 陣 分団別日程

A 団（青年指導者）

日付			プログラムの内容
11 月 10 日	火	午後	成田空港着 オリエンテーション
11 月 11 日	水	午前	商業施設参観
		午後	青年海外協力協会訪問、日本紹介セミナー、JICA 地球ひろば見学、 青年海外協力隊帰国隊員パネルディスカッション、座談会
11 月 12 日	木	午前	パナソニックセンター東京視察
		午後	2008 日中青少年友好交流年 日本側閉幕式・レセプション
11 月 13 日	金	午前	横浜市表敬訪問
		午後	横浜市資源循環局鶴見工場視察
11 月 14 日	土	午前	協同組合元町 SS 会訪問、元町商店街視察
		午後	横浜市みなとみらい 21 講義、視察
11 月 15 日	日	午前	鎌倉散策
		午後	日中交流合宿セミナー
11 月 16 日	月	午前	日中交流合宿セミナー
		午後	銀座視察
11 月 17 日	火	午前	目黒区防災センター 地震の学習館視察
		午後	報告会 歓送会
11 月 18 日	水	午前	帰国

**B 団（公務員）**

日付			プログラムの内容
11月10日	火	午後	成田空港着 オリエンテーション
11月11日	水	午前	都内参観
		午後	青年海外協力協会訪問、日本紹介セミナー、JICA 地球ひろば見学、 青年海外協力隊帰国隊員パネルディスカッション、座談会
11月12日	木	午前	中央防波堤埋立処分場視察
		午後	2008 日中青少年友好交流年 日本側閉幕式・レセプション
11月13日	金	午前	新幹線にて名古屋へ移動
		午後	リニアモーターカー体験乗車、愛・地球博記念公園参観 名古屋市内参観
11月14日	土	午前	トヨタ会館参観
		午後	名古屋市表敬訪問、鍋屋上野浄水場視察
11月15日	日	午前	ホームステイ対面式
		午後	ホームステイ
11月16日	月	午前	ホームステイ
		午後	ホームステイ歓送会、新幹線にて東京へ移動
11月17日	火	午前	目黒区防災センター 地震の学習館視察
		午後	東京タワー大展望台参観、都内参観 報告会、歓送会
11月18日	水	午前	帰国

## C 団(企業家)

日付		プログラムの内容	
11月10日	火	午後	成田空港着 日本紹介セミナー 伊本俊二 元読売新聞編集局次長 オリエンテーション、交流・歓迎会
11月11日	水	午前	都庁、皇居前広場、都内参観
		午後	国会議事堂視察、後藤田正純 衆議院議員 意見交換会 (財)省エネルギーセンター 日本企業の省エネルギー政策や政府支援 「中堅・中小企業向け ESCO (Energy Service Company) 事業補助金制度の導入に関する講義
11月12日	木	午前	(財)社会経済生産性本部での講義 「日本企業の労務・人事マネジメント」
		午後	2008 日中青少年友好交流年 日本側閉幕式・レセプション
11月13日	金	午前	(財)日本適合性認定協会 講義「ISO14001 に対する日本企業の取り組み」
		午後	東京消防庁池袋防災館で地震体験 バスにて長野県諏訪市へ移動
11月14日	土	午前	霧ヶ峰高原参観
		午後	山田勝文 諏訪市長 表敬訪問 諏訪圏ものづくり推進機構 セミナー 長野県の青年企業家との交流会・合宿
11月15日	日	午前	バスにて山梨県河口湖へ
		午後	NPO 富士山クラブ「もりの学校」 富士山の環境問題に関するセミナー NPO 富士山クラブ 富士樹海環境トレッキング 御殿場プレミアムアウトレット参観。バスにて沼津へ
11月16日	月	午前	バスにて東京へ
		午後	銀座参観、浅草大観光祭視察、 C 団送別交流会
11月17日	火	午前	4 班に分かれた企業訪問・交流 ① (株) 資生堂 ② 富士フイルム (株) ③ DAC (株) ④ (株) セプテーニ
		午後	報告会・歓送会
11月18日	水	午前	帰国

## D 団（教育関係者）

日付			プログラムの内容
11月10日	火	午後	成田空港着、プログラムオリエンテーション 歓迎会
11月11日	水	午前	江戸東京博物館見学
		午後	日本紹介セミナー「日本の教育・社会事情と現状」 浅草寺と仲見世の散策
11月12日	木	午前	横浜市立中村特別支援学校訪問
		午後	2008 日中青少年友好交流年 日本側閉幕式・レセプション
11月13日	金	午前	京都へ移動（新幹線にて）、京都市役所への表敬訪問
		午後	京都教育大学訪問・教職員、学生との交流会
11月14日	土	午前	放送大学 京都学習センター訪問
		午後	京都国際マンガミュージアム見学 京都市立京都御池中学校見学 京都市教育委員会関係者との合同セミナー・交流会
11月15日	日	午前	バイオディーゼル燃料化事業訪問
		午後	世界遺産・清水寺見学 文化体験：創作生八つ橋作りとおうす体験
11月16日	月	午前	大阪城見学、東京へ移動（新幹線にて）
		午後	東京タワー大展望台見学
11月17日	火	午前	秋葉原散策
		午後	皇居散策 報告会・歓送会
11月18日	水	午前	帰国

## E 団（地方青年指導者）

日付			プログラムの内容
11月10日	火	午後	成田空港着、オリエンテーション 日本紹介セミナー【経済】（宮崎講師） 歓迎会・東京タワー見学
11月11日	水	午前	隅田川遊覧・浅草寺（仲見世）
		午後	商業施設参観、 【産業政策】（齋藤講師）・東京交流会
11月12日	木	午前	日本紹介セミナー【産業ツアー】 （東京電力品川発電所・パナソニック）
		午後	2008 日中青少年友好交流年 日本側閉幕式・レセプション
11月13日	金	午前	新幹線で兵庫県へ移動 兵庫県表敬（多木和重観光・国際局長）
		午後	神戸午餐会 日本紹介セミナー【農業・防災・経済】（小池・金・浅田講師） 日本紹介セミナー【友好】（林講師）・兵庫交流会
11月14日	土	午前	有馬温泉紅葉鑑賞 日本紹介セミナー【地方振興】（三木しいたけランド）
		午後	コウノトリに関する講義、参観（自然放鳥と有機農法） 農村交流（豊岡市但東町『善』・『八平』）
11月15日	日	午前	出石城見学・世界遺産天橋立見学 京都へ移動
		午後	保津川下り・嵐山周恩来総理記念碑見学 【日本文化体験】・京都交流会
11月16日	月	午前	【福祉】（宇治市社会福祉協議会） 宇治平等院・唐招提寺・東大寺見学
		午後	新幹線で東京へ、新宿参観
11月17日	火	午前	【歴史】（日比谷松本楼 王講師・小坂講師）、日比谷公園散策
		午後	お台場参観 報告会・歓送会
11月18日	水	午前	帰国

F 団 (学者)

日付			プログラムの内容
11月10日	火	午後	成田空港着 オリエンテーション
11月11日	水	午前	皇居前広場、銀座三越視察
		午後	法政大学交流、笹川平和財団・東京財団交流、国会議事堂視察
11月12日	木	午前	防衛研究所交流
		午後	学習院大学交流、 2008 日中青少年友好交流年日本側閉幕式、レセプション
11月13日	金	午前	新幹線のぞみ号にて名古屋へ移動
		午後	愛知県（国際課、産業労働部、環境部、議会事務局、健康福祉部、防災部）交流
11月14日	土	午前	名古屋市科学館視察、名古屋商工会議所交流、
		午後	名古屋大学（豊田講堂、博物館、法学部等）交流・視察、 名古屋モード学園視察
11月15日	日	午前	名古屋城視察、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館視察
		午後	ノリタケの森、マックスバリュウ、ビックカメラ、 JRセントラルタワーズ等視察
11月16日	月	午前	新幹線こだま号にて新富士駅へ、富士宮
		午後	富士ビジターセンター（富士山、紅葉視察） 甲府・山梨学院大学と交流・合宿
11月17日	火	午前	専用バスにて東京へ移動、NHK視察・交流
		午後	東京都総合防災センター交流、都庁展望塔視察 報告会、歓送会、成田へ移動
11月18日	水	午前	帰国

G 団（青少年分団）

日付			プログラムの内容	
11月10日	火	午後	成田空港着 オリエンテーション	
11月11日	水	午前	都内参観	
		午後	「トヨタメガウェブ」参観 日本紹介セミナー	
11月12日	木	午前	都内参観	
		午後	2008 日中青少年友好交流年 日本側閉幕式・レセプション	
11月13日	金	午前	広島コース	新潟コース
			広島県へ移動	新潟県へ移動 新潟県知事表敬訪問
		午後	三次高校との学校交流 三次市日中友好協会歓迎会	長岡工業高校との学校交流
11月14日	土	午前	はらみちお美術館参観 折り紙博物館参観	新発田市・村上市参観
		午後	マツダテストコース見学 厳島神社参観	新潟県高校生と交流合宿
11月15日	日	午前	兵庫県へ移動 姫路城参観	佐渡参観 (トキ保護センター等)
		午後	啓明学院高校と合宿	東京へ移動
11月16日	月	午前	明石海峡大橋を参観	都内参観
		午後	あしなが育英会（東灘区）との 交流会 六甲山・神戸市内参観	あしなが育英会（日野市）との 交流会
11月17日	火	午前	東京へ移動	都内参観
		午後	都内参観 歓送会	
11月18日	水	午前	帰国	